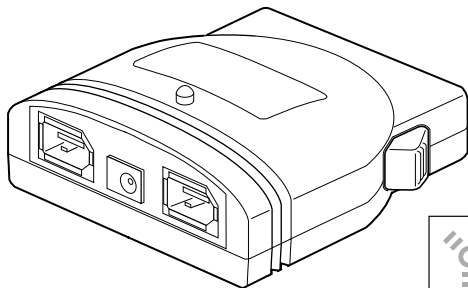


FireWire - Ultra SCSI コンバーター

FireREX1

ユーザーズマニュアル

2008年8月 第5.0版



ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

目次

●	安全にご使用いただくために	3
1	はじめに	6
	-1. 内容物の確認	6
	-2. 対応OS	7
	-3. 対応パソコン	7
	-4. 対応SCSI機器	7
	-5. 各部名称	9
	-6. 使用上の注意	9

Mac OS編

2	Macでのセットアップ	11
	-1. 機器の接続	11
	-2. スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには	14
	-3. SIMドライバについて	15
3	Mac OS X用ユーティリティソフト	16
	-1. Mac OS X用のユーティリティソフトの起動と終了方法	16
	-2. Mac OS X用のコンフィギュレーションについて	18
	-3. Mac OS X用のファームウェアアップデートについて	21
4	Mac OS 9用ユーティリティソフト	22
	-1. Mac OS 9にインストール	22
	-2. Mac OS 9用のユーティリティソフトの起動と終了方法	25
	-3. Mac OS 9用のコンフィギュレーションについて	28
	-4. Mac OS 9用のファームウェアアップデートについて	29

Windows編

- 5** Windowsでのセットアップ…………… 31
- 1. 機器の接続…………… 31
 - 2. Windows 98SEでのインストール方法…………… 35
- 6** 本機(FireREX1)の取り外し…………… 36
- 7** Windows用ユーティリティソフト…………… 37
- 1. Windows用ユーティリティソフトのインストール… 37
 - 2. コンフィギュレーションユーティリティの起動手順… 38
 - 2-1. コンフィギュレーションについて…………… 40
 - 2-2. ファームウェアアップデートについて…………… 42
 - 3. フォーマットユーティリティについて…………… 44
-
- 8** リピータとして使用する…………… 50
- 9** トラブルシューティング…………… 51
- 10** お問い合わせ…………… 59
- 1. 本製品に関するお問い合わせ…………… 59
 - 2. プロダクトキーについて…………… 60
 - 3. Windows Vistaプロダクトキーについて…………… 60
 - 4. 修理について…………… 61
- 11** オプション品のご案内…………… 62
- 12** 製品仕様…………… 63
- FireREX1 質問用紙

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

⚠注意

- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- FireREX1をACアダプタで使用する場合は、必ず専用のACアダプタ(別売)を使用してください。発熱や発火、故障の原因となりますので、他のACアダプタを絶対に使用しないでください。
- FireREX1の挿入口に異物などを入れないでください。故障の原因となります。
- データの書き込みもしくは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、FireREX1から取り外したりしないでください。データが破壊もしくは消失する恐れがあります。
- SCSIコネクタのピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

その他のご注意

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点ございましたらご連絡くださいますようお願い致します。
- 本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple, iBook, iMac, Mac, Mac OS, MacBook, PowerBook, Power Macは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。

1

はじめに

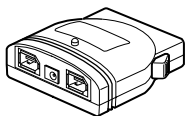
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

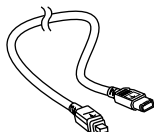
1-1. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

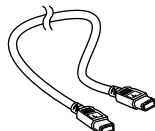
万が一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



● FireREX1本体



● FireWire(IEEE1394)
4ピン-6ピンケーブル
(約100cm)



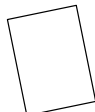
● FireWire(IEEE1394)
6ピン-6ピンケーブル
(約100cm)



● ソフトウェアCD-ROM



● ユーザーズマニュアル
(本書)



● 保証書

1-2. 対応OS

Windows XP、2000、Me、98SE
Mac OS X 10.0.4以降、Mac OS 9.2.2以降

- ※ Windows XPは64ビット版にも対応。
- ※ 有償ドライバにより、Windows Vistaに対応。(64ビット版にも対応)

1-3. 対応パソコン

FireWire(IEEE1394)ポートを装備したWindows PCおよびMac

- ※ AGPスロットのないPower Macを除く。

1-4. 対応SCSI機器

コネクタが“ハーフピッチ・ピンタイプ50ピン/メス型コネクタ”でタームパワーが供給可能なSCSI-I、SCSI-II、Ultra SCSI準拠のデバイス(シングルエンドタイプ)

- ※コネクタの形状が異なる機器では、市販されている“変換コネクタ”を別途ご用意ください。

※以下の場合、別売のACアダプタ(RSO-AC05)またはバスパワーケーブル(RCL-USBDC-07)が必要です。⇒62ページ **11**「オプション品のご案内」参照

- ・ SCSI機器の電源がオフの状態、FireWireリピータとして使用する場合
- ・ タームパワーを供給しない(zipなど)、もしくはタームパワーの供給が充分でない(ACアダプタタイプのMOなど)SCSI機器に装着する場合

◆本製品で使用可能な一般的なSCSI機器は、下表の通りです。

	Windows	Mac OS 9	Mac OS X
ハードディスク、MO、CD-ROM	○	○	○
CD-RW	○	○	○
DVD-RAM/ROM/RW	○	×	×
(フィルム) スキャナ	○	○※1	○※2
テープドライブ	○	○※1	○
プリンター	×	×	×※3

※1 B's Crew SIMドライバにて対応

※2 Hamrick社製Scanソフトウェアにて対応

※3 ピクトログラフィーは対応

最新の情報(対応OS/パソコン/SCSI機種)は、ホームページにてご確認ください。

<http://www.ratocsystems.com/>

1-5. 各部名称

Power LED(緑)

ACアダプタジャック

6ピンFireWire
(IEEE1394)ポート

ハーフピッチ・ピンタイプ50ピン

プッシュボタン

プッシュボタンを押しSCSI機器を接続

1-6. 使用上の注意

※SIMドライバで動作保証される機器は、弊社にて動作が確認された機器のみとなります。
詳細は15ページ 2-3、「SIMドライバについて」をご覧ください。

※SCSI機器に添付のソフトウェア/ユーティリティなどは、使用できない場合があります。

※SCSI機器のテイジチェーンはできません。

※PD、CDチェンジャーは使用できません。

※Windowsブートはできません。

(Mac OSブートに関する注意)

※FireREX1に接続したハードディスク、MOなどからブートする場合は、Mac本体BIOSが
FireWireブートに対応している必要があります。詳しくはAppleのホームページでご確認
ください。

※MOブートは540MB以下のメディアを使用してください。

※CDブートはサポートしていません。

Mac OS編

本章からはMac OSをご使用の方への説明になります。
Windowsをご使用の方は30ページへお進みください。

2-1. 機器の接続

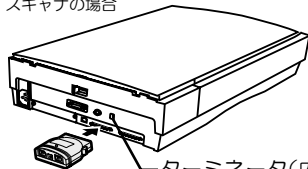
⚠ 注意

※本機(FireREX1)のSCSIコネクタピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

※ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

1. スキャナやテープドライブなどのSCSI機器では、接続する前にドライバをインストールする場合があります。それらの機器の取扱説明書を参照し、ドライバのインストールをおこなってください。
2. SCSI機器の電源がOFFであることを確認して、本機(FireREX1)とSCSI機器を接続してください。

スキャナの場合

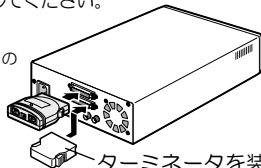


ターミネータ(内蔵式)
スイッチをON



ターミネータが内蔵されていない場合は、必ず【アクティブターミネータ(終端装置)】を装着してください。

ハード
ディスクの
場合

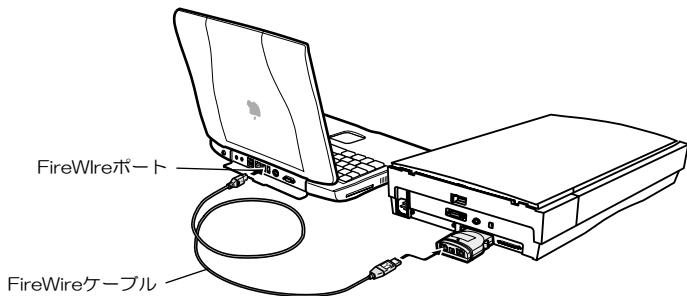


ターミネータを装着

3. それぞれのSCSI機器のID番号を【7】以外で設定してください。(ID番号【7】は本機で使用しています。) 設定スイッチは通常、SCSI機器の背面パネルにあります。詳しくはそれぞれのSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。

4. Macの電源をONにしてください。

5. FireWireケーブルでMacとSCSI機器を接続してください。



6. SCSI機器の電源をONにしてください。本機(FireREX1)のPower LEDが点灯します。

7. ハードディスクなどの場合、デスクトップにアイコンが追加されていれば、本機(FireREX1)の接続は完了です。機器を使用できます。

※スキャナ、テープドライブの場合、
一般的にアイコンは表示されません。
⇒14ページ **2**-2「スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには」参照

※ボリューム名、アイコンは環境により
異なります。



ハード
ディスクの場合



MOの場合



CDの場合

※Mac OS 9.2.2の場合、SIMドライバにより認識可能となるSCSI機器(主にスキャナやテープドライブ)があります。

⇒15ページ **2**-3、「SIMドライバについて」参照



本機(FireREX1)はシステムプロファイラ[※]に次のように登録されます。

※Mac OS 9.2.2ではAppleシステム・プロフィール。

●Mac OS X 10.4.11の場合

The screenshot shows the 'System Information' window for a RATOC system. The 'FireWire' section is expanded, showing details for the 'IEEE1394 - SCSI-3' device. A callout box points to the device name and manufacturer: 'IEEE1394-SCSI-3 製造元:RATOC Systems,Inc.'. Another callout box points to the 'Revision' field, which is '1.50', with the text 'SCSI機器のリビジョン(4ケタ)が表示されます' (The SCSI device revision (4 digits) is displayed).

IEEE1394 - SCSI-3
製造元: RATOC Systems,Inc.
GUID: 0xc0000300f80885
最高速度: 最高 400 Mb/秒
接続速度: 最高 400 Mb/秒
サブユニット:
IEEE1394 - SCSI-3 Unit:
ユニットソフトウェアのバージョン: 0x10483
ユニットのスペック ID: 0x609E
ファームウェアのリビジョン: 0x10124
製品のリビジョンレベル: 1.50
サブユニット:
IEEE1394 - SCSI-3 SBP-LUN:

●Mac OS 9.2.2の場合

The screenshot shows the 'System Profiler' window for a Mac OS 9.2.2 system. The 'Firewire' section is expanded, showing details for the 'fw609e,10483' device. A callout box points to the device name: 'fw609e,10483'. The 'MDS360' section is also expanded, showing details for the 'RATOC-J10' device.

fw609e,10483
MDS360
Revision ID: 1.01
製造番号: なし
プロダクト ID: sbp609e,104d8
販売元: OLYMPUS
Sub revisionID: なし
RATOC-J10

2 -2. スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには

●スキャナ

SCSIスキャナの大部分はMac OS Xに対応していません。

ただし、以下のScanソフトウェアはSCSI機器ではなくFireWire接続のSCSI スキャナ/フィルムスキャナでも使用することができます。別途購入してください。

- ・VueScan
- ・SilverFast

これらのソフトウェアの使用方法については、各ソフトウェアメーカーのマニュアルを参照ください。

●テープドライブ

テープバックアップ用のソフトウェアは別途購入してください。

- ・Retrospect
- ・Bru

これらのソフトウェアの使用方法については、各ソフトウェアメーカーのマニュアルを参照ください。

テープドライブの大半は68ピンWIDE SCSIコネクタとなります。別途68ピン⇔50ピン変換コネクタを用意してください。

2 -3. SIMドライバについて

Mac OS 9で動作し、主に下記のSCSI機器を認識させるとができます。

- スキャナ
- テープドライブ

【概要】

SIM(SCSI Interface Module)ドライバはMac OS 9においてFireREX1に接続されたSCSI機器を、SCSI機器として認識させるためのモジュールです。

SCSI用に開発されたスキャナなどのドライバが使用できますので、FireWireに対応していないデバイスをFireWireポートに接続しSCSIデバイスとして使用することが可能となります。

※Mac OS X用のSIMドライバは用意していません。

【注意事項】

1. ドライバ(SIM Driver)は弊社ホームページにてダウンロードできます。
2. SIMドライバで使用できるデバイスについては、弊社で動作を確認できた機器のみとなります。予め弊社ホームページの動作確認済み機器リストを参照ください。
3. ホットプラグには対応していません。
4. FireREX1に接続したSCSI機器からのシステム起動には対応していません。
5. 拡張SCSIに対応していない(Mac本体標準SCSIポートのみ対応の)機器には対応していません。
6. 本機(FireREX1)のSIMドライバモードが有効になっている必要があります(初期状態)。SIMドライバモードを無効にしている場合は、ユーティリティソフトを使用して有効に戻してください。⇒28ページ **4**-3、「Mac OS 9用のコンフィギュレーションについて」参照

SIMドライバのダウンロード、その他詳細は下記アドレスを参照してください。
<http://www.ratocsystems.com/services/driver/info/firerex1.html>

(2008年7月現在)

3

Mac OS X用ユーティリティソフト

本製品にはMac OS X用のユーティリティとして、本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなうためのプログラムと、本機(FireREX1)のファームウェアのアップデートプログラムを添付しています。Mac OS Xの場合、事前にインストールをおこなう必要はありません。

3-1. Mac OS X用のユーティリティソフトの起動と終了方法

⚠ 注意 問題なく本製品を使用できている場合は、むやみに起動しないでください。

起動方法

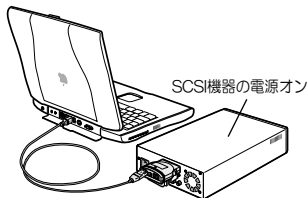
1. 本機(FireREX1)がパソコンに接続されていることを確認してください。

※他のFireWire機器は未接続にしてください。

2. 【FR1Utility】を起動してください。



FR1Utility

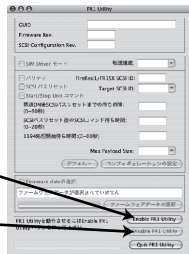


- 弊社ホームページより最新版をダウンロードしてご使用ください。
- 【FR1Utility】は、添付CD、またはダウンロードしたフォルダ内の、【FR1 for OSX】→【FRUTY_OS_X】フォルダの中にあります。(フォルダの名前は変更になることがあります。)
- FireWire接続のシステムディスクからは使用できません。

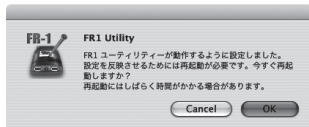
3. 右の画面が起動します。
【Enable FR1 Utility】をクリックし、ユーティリティの動作を開始させます。

【Enable FR1 Utility】
ユーティリティの動作を開始

【Disable FR1 Utility】
ユーティリティの動作を停止



4. 管理者パスワードの入力画面が表示されますので、入力し【OK】します。
【再起動が必要です】の画面が表示されますので【OK】し再起動してください。



5. 再度、【FR1 Utility】を起動してください。ユーティリティを使用できます。

- ◆ コンフィギュレーションの設定方法は、18ページ **3**-2「Mac OS X用のコンフィギュレーションについて」をお読みください。
- ◆ ファームウェアデータの更新方法は、21ページ **3**-3「Mac OS X用のファームウェアアップデートについて」をお読みください。

終了方法

※ユーティリティ動作中はSCSI機器がマウントされません。次の終了手続きを必ずおこなってください。

【Disable FR1 Utility】をクリックし、ユーティリティの動作を停止させます。
管理者パスワードの入力後、再起動をおこなってください。

3-2. Mac OS X用のコンフィギュレーションについて

ユーティリティを使用すれば、本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなうことができます。

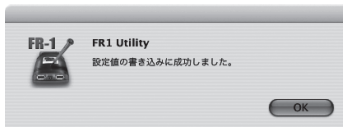
ユーティリティの起動と終了方法は、16ページ **3-1**「Mac OS X用のユーティリティソフトの起動と終了方法」を参照してください。

1. 設定値を変更します。
※ 各項目の説明は、次ページを参照

2. 設定内容を本機(FireREX1)に書き込むため、【コンフィギュレーションの設定】をクリックしてください。

3. 書き込み成功のメッセージが表示されますので【OK】してください。

4. メイン画面に戻ります。
【Disable FR1 Utility】をクリックし、ユーティリティを終了してください。



ユーティリティの各項目の説明

【Firmware Rev.】

本機(FireREX1)の現在のファームウェアバージョンを表示しています。

【SCSI Configuration Rev.】

このソフト(Config utility)のソフトウェアバージョンを表示しています。

【FireREX1/FRISX SCSI ID】

本機(FireREX1)のSCSI IDを示し7番固定です。

【転送速度】

デフォルトは【20MB/s】です。

転送速度は20MB/s、10MB/s、5MB/s、Asyncの4種類で、各SCSI機器への転送速度を選択できます。

【SIM Driverモード】

デフォルトは【有効】(チェックあり)です。

SIMドライバを使用する場合は有効にする必要があります。

【Target SCSI ID】

デフォルトは【Auto】です。

(重要:本機を使用してSCSI機器のデジチェーン接続ができませんので、常に【Auto】に設定しておいてください。)

【パリティ】

デフォルトは【有効】(チェックあり)です。

パリティチェック機能のないSCSI機器がある場合に限り、無効にしてください。

【電源ON後 SCSIバスリセットまでの待ち時間】

デフォルトは【0秒】です。

本機(FireREX1)の電源ON直後にSCSIリセットを発行すると正しく動作しないSCSI機器用に、待ち時間を設定します。Castle Wood ORBドライブ、Canon FB620S、Sharp JX-370では2秒、POLA SCAN4000では40秒に設定してください。

【SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間】

デフォルトは【1秒】です。

SCSIバスリセットを発行後、すぐにSCSIコマンドを発行するとハングアップする機器に対して、待ち時間を設定します。

【1394処理開始待ち時間】

初期値は【4秒】です。

Start/Stop Unitコマンド発行後、すぐに他のコマンドを発行すると命令を受け付けない機器に対して、待ち時間を設定します。

※Start Unitコマンドを発行しないように設定している場合は、1394処理を開始する直前の待ち時間を意味します。

【SCSIバスリセット発行】

初期設定は【有効】(チェックあり)です。

電源ON後、本機(FireREX1)がデバイスに対しSCSIバスリセットを発行するかどうかを設定します。

【Start/Stop Unit コマンド】

デフォルトは【発行しない】(チェックなし)です。

電源ON時、Start/Stop Unitコマンドを発行しないとモータが回らないSCSI機器がある場合、ボックスにチェック(有効)を入れてください。

【Max payload size】

初期値は【1024】です。アドテックス製 1394 Hub ASB-H048を接続する場合は、1024または512に設定してください。2048に設定すると正常に動作しません。

【デフォルト】ボタン

このボタンを押すと、全ての項目をデフォルトの設定状態に戻します。

下記のスキヤナは設定を次のように変更する必要があります。

UMAX PowerLook2100XL / Linotype-Hell Hidelberg Shaphier / Imacon FlexTight など

・転送速度.....	Async
・電源ON後 SCSIバスリセットまでの待ち時間.....	2秒
・SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間.....	5秒
・1394処理開始待ち時間.....	7秒

3-3. Mac OS X用のファームウェアアップデートについて

ユーティリティを使用すれば、最新版のファームウェアを弊社ホームページから入手し、アップデートをおこなうことができます。

ユーティリティの起動と終了方法は、16ページ **3-1**、「Mac OS X用のユーティリティソフトの起動と終了方法」を参照してください。

1. ユーティリティのメイン画面の【Firmware dataの選択】にチェックを入れると、右のようなファイル選択画面が表示されます。
書き込むファームウェアを選択し、【開く】をクリックすると、メイン画面に戻りますので、【ファームウェアデータの更新】をクリックしてください。



2. 更新完了のメッセージが表示されますので【OK】してください。
3. メイン画面に戻りますので、【Disable FR1 Utility】をクリックしユーティリティを終了してください。

⚠ 警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.bin」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、またはダウンロードしたフォルダ内の、【FRUTY】フォルダの中にあります。

4 Mac OS 9用ユーティリティソフト

本製品にはMac OS 9用のユーティリティとして、本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなうためのプログラムと、本機(Fire REX1)のファームウェアのアップデートプログラムを添付しています。必要に応じてインストールをおこなってください。

4-1. Mac OS 9にインストール

1. Mac OS 9の場合、まず【機能拡張マネージャ】にて、「ユーティリティのインストールおよび実行時用のセット」を作成する必要があります。アップルメニューの【コントロールパネル】から【機能拡張マネージャ】を開いてください。
2. 【セット】を【Mac OS 基本】に変更し、【セットを複製】をクリックしてください。



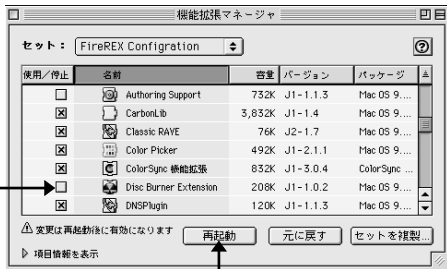
3. 下図の画面が表示されますので、【複製したセットの名前】に任意の名前を入力し、【OK】をクリックしてください。



4. 次に、機能拡張にある下記ドライバーをOFFにして(×印を消して)ください。

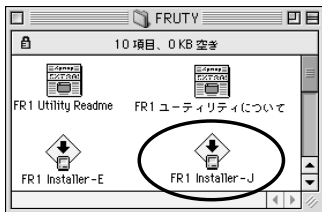
- Authoring Support
- FireWire Autoring Support
- Disc Burner Extension

ドライバをOFFにした状態。



変更を有効にするため、再起動してください。

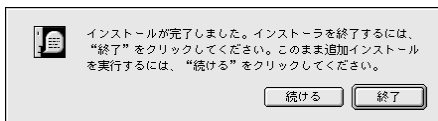
5. 添付のCD-ROMをCDドライブに挿入し、マウントされたCDドライブアイコンを開き、【FR1 for OS9】→【FR Installer-J】をスタートさせてください。



6. 右図画面が表示されれば、インストール先を確認の上【インストール】をクリックしてください。



7. インストールが完了すると下図画面が表示されますので、【終了】をクリックしてください。



⚠ 注意

機能拡張マネージャにて、今回任意の名前で作成した起動用のセットは、ユーティリティのインストール、及びユーティリティの実行時に選択してください。ユーティリティ使用終了後は、それまで使用されていたセットに戻してお使いください。

4-2. Mac OS 9用のユーティリティソフトの起動と終了方法

注意 問題なく本製品を使用できている場合は、むやみに起動しないでください。

起動方法

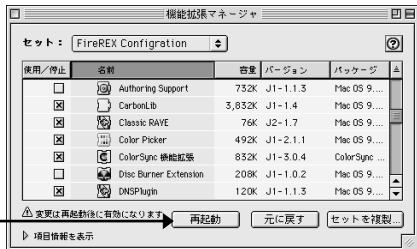
1. ユーティリティを起動する前に、確認作業をおこないます。
アップルメニューから【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を開いてください。
2. 起動用の【セット】が、22ページ 4-1.「Mac OS 9にインストール」で作成したセットになっている事を確認し、このユーティリティソフトが使用する下記機能拡張ドライバが使用可になっている事を確認してください。

- FireREXAPIDriver
- FireREXLoaderDriver

次に、機能拡張にある下記ドライバが使用不可になっていることを確認してください。

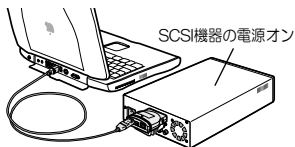
- Authoring Support
- FireWire Authoring Support
- Disc Burner Extension

変更を有効にするため再起動を
してください。

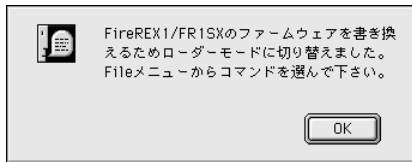


3. 本機(FireREX1)がパソコンに接続されていることを確認してください。

※他のFireWire機器は未接続にしてください。



4. 指定したインストール先に【FRUTY】フォルダが作成されています。
【FRUTY】フォルダ内のFR1ユーティリティをダブルクリックしてください。
5. しばらくすると下図画面が表示されますので、【OK】をクリックしてください。



6. ユーティリティを使用できます。
【File】メニューから、【Config Utility】もしくは【Firmware update Utility】を選びます。

◆ Config Utility

本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなう場合に選択します。

使用方法は、28ページ**4**-3、「Mac OS 9用のコンフィギュレーションについて」をお読みください。

◆ Firmware update Utility

本機(FireREX1)のファームウェアのアップデートをおこなう場合に選択します。
使用方法は、29ページ**4**-4、「Mac OS 9用のファームウェアアップデートについて」をお読みください。

終了方法

※ユーティリティ動作中はSCSI機器がマウントされません。次の終了手続きを必ずおこなってください。

1. 【File】メニューから【Quit】を選択しユーティリティを終了します。
2. 機能拡張マネージャにて、元のセットに戻し再起動します。

注意

機能拡張マネージャにて、今回任意の名前で作成した起動用のセットは、ユーティリティのインストール、及びユーティリティの実行時に選択してください。ユーティリティ使用終了後は、それまで使用されていたセットに戻してお使いください。

4 -3. Mac OS 9用のコンフィギュレーションについて

ユーティリティを使用すれば、本機(Fire REX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなうことができます。

ユーティリティの起動と終了方法は、25ページ
4-2.「Mac OS 9用のユーティリティソフトの起動と終了方法」を参照してください。

【File】メニューから【Config Utility】を起動すると、上図画面が表示されます。
 【高度な設定】をクリックすると下図画面が表示され、詳細な設定をおこなうことができます。

1. 設定値を変更します。

※ 各項目の説明は、19～20ページを参照

2. 設定内容を本機(FireREX1)に書き込むため、【実行】をクリックしてください。

3. 更新完了のメッセージが表示されますので【OK】してください。

4. 【File】メニューから【Quit】を選択しユーティリティを終了してください。
 機能拡張マネージャにて、元のセットに戻し、再起動してください。

Configuration Utility

GUID: 00C0D00000FB0885
 Firmware Rev: 1.23
 SCSI Configuration Rev: 0.03

FireREX1/FRI SX SCSI ID: 7
 転送速度: 20MB/s

SIM Driver モード: (チェック時有効)

Configuration Utility (高度な設定)

Target ID:

パリティ: (チェック時有効)

電源ON後 SCSI パスリセット
 までの待ち時間(0～60秒):

SCSI パスリセット後のSCSI
 コマンド待ち時間(0～20秒):

1394 処理開始待ち時間
 (0～60秒):

SCSI パスリセット: (チェック時発行)

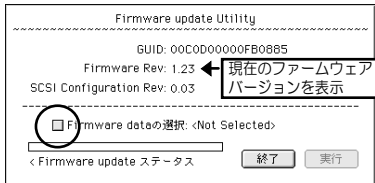
Start/Stop Unit コマンド: (チェック時発行)

MAX Payload Size:

4-4. Mac OS 9用のファームウェアアップデートについて

ユーティリティを使用すれば、最新版のファームウェアを弊社ホームページから入手し、アップデートをおこなうことができます。

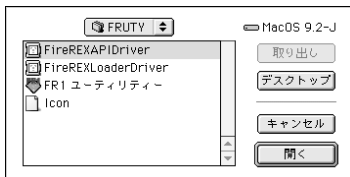
ユーティリティの起動と終了方法は、25ページ **4-2**「Mac OS 9用のユーティリティソフトの起動と終了方法」を参照してください。



1.【File】メニューから【Firmware update Utility】を起動すると、上図画面が表示されます。

【Firmware dataの選択】をクリックすると、右図画面が表示されますので、書き込むファームウェアを選択してください。

【開く】をクリックすると、上図画面に戻りますので、【実行】をクリックしてください。ファームウェアの書き込みが始まります。



2. 更新完了のメッセージが表示されますので【OK】してください。

3. 【File】メニューから【Quit】を選択しユーティリティを終了してください。
機能拡張マネージャにて、元のセットに戻し、再起動してください。

警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。
ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.bin」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、またはダウンロードしたフォルダ内の、【FRUTY】フォルダの中にあります。

Windows編

本章からはWindowsをご使用の方への説明になります。
Mac OSをご使用の方は10ページへお戻りください。

5-1. 機器の接続

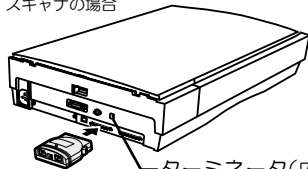
⚠ 注意

※本機(FireREX1)のSCSIコネクタピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

※ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

1. SCSI機器の電源がOFFであることを確認して、本機(FireREX1)とSCSI機器を接続してください。

スキャナの場合

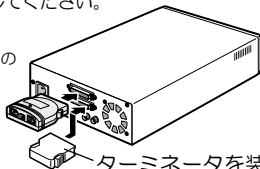


ターミネータ(内蔵式)
スイッチをON



ターミネータが内蔵されていない場合は、必ず【アクティブターミネータ(終端装置)】を装着してください。

ハード
ディスクの
場合

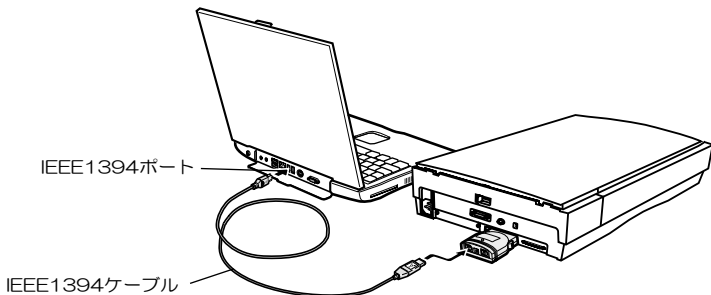


ターミネータを装着

2. それぞれのSCSI機器のID番号を【7】以外で設定してください。
(ID番号【7】は本機で使用しています。)
設定スイッチは通常、SCSI機器の背面パネルにあります。詳しくはそれぞれのSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。

3. パソコンの電源をONにしてください。

4. IEEE1394ケーブルでパソコンとSCSI機器を接続してください。

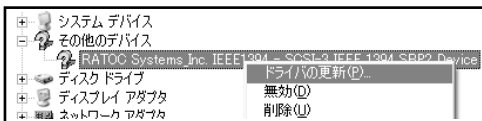


5. SCSI機器の電源をONにしてください。本機(FireREX1)のPower LEDが点灯します。

6. スキャナ、テープドライブを接続した場合、デバイスマネージャ上のその他のデバイスに登録されてしまいますので、次の手順でドライバの更新をおこなってください。

① デバイスマネージャを開く。

② その他のデバイスにある”RATOC System_Inc. IEEE1394-SCSI-3 IEEE1394 SBP2 Device”を右クリックしドライバの更新を選択。



③ ハードウェアの更新ウィザードが開始される。Windows Updateに接続しないでウィザードを次へ進める。

- ④ “一覧または特定の場所からインストールする(詳細)”を選択。
- ⑤ “検索しないで、インストールするドライバを選択する”を選択。
- ⑥ ハードウェアの種類で、“イメージングデバイス”を選択。
- ⑦ 製造元の欄で、“メーカー”を選択。

スキャナの型番を選択。

※ご使用のスキャナ、テープドライブのドライバ(セットアップ情報(INF)ファイル)をダウンロードなどで用意できる場合は、「ディスク使用」をクリック。



- ⑧ ドライバのコピーが開始される。
- ⑨ ログテストに合格していないに対して、続行をクリック。

以上で、デバイスマネージャには、その他のデバイスがなくなり、イメージングデバイスが作成され、スキャナの型番が表示されます。

7. ハードディスクやMOドライブを接続した場合、マイコンピュータにドライブが追加されていれば、本機(FireREX1)の接続は完了です。機器を使用できます。

※ドライブ名(D:、E:など)は環境により異なります。



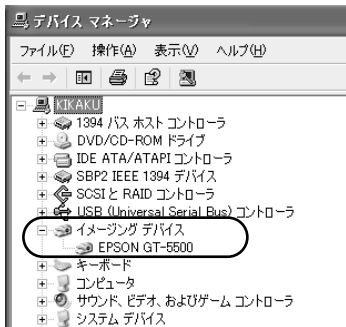
Windows 98SEでご使用の場合は35ページ**5**-2、「Windows 98SEでのインストール方法」を参照ください。



参考) デバイスマネージャには次のように登録されます。

※画面はWindows XPの場合。

●EPSON GT-5500 の場合



●ハードディスクの場合

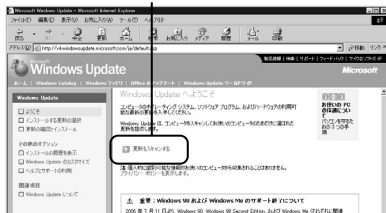


5-2. Windows 98 SEでのインストール方法

Microsoftより公開されている1394記憶装置の修正プログラムを導入してください。この修正プログラムにより、ハードウェア取り外しアイコンのアップグレードと1394記憶装置のパフォーマンス向上をおこなうことができます。

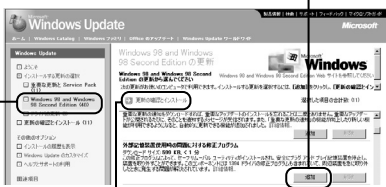
1.【スタート】を左クリックし、Windows Updateを選択してください。

2.「更新をスキャンする」をクリック



3.「Windows 98 and Windows 98 Second Edition」をクリック

4.「外部記憶装置使用時の問題に対する修正プログラム」の【追加】をクリック



5.「更新の確認とインストール」をクリック

6.【今すぐインストールする】をクリック



7.画面の指示に従って作業を進めてください。インストール完了後、再起動を求められますので、再起動してください。

以上で、インストール完了です。

パソコンの電源を入れたままで、本機(FireREX1)を取り外しできます。
 ※画面はWindows XPの場合です。他のOSでは画面が若干異なります。

1. Windowsのタスクバーにある緑色の矢印のついたアイコンをクリックしてください。

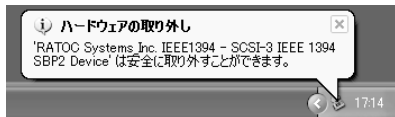


2. 次のようなメッセージが表示されますので、このメッセージを選択してください。



注: 表示される文字は環境により異なります。

3. 【安全に取り外すことができます】のメッセージが表示されますので、(Windows Me/2000/98SEは【OK】をクリックし)パソコンからIEEE 1394ケーブルを抜いてください



パソコン電源を切ってから取り外す場合、上記手順は必要ありません。

7

Windows用ユーティリティソフト

本製品には、2つのユーティリティソフトを添付しております。

■コンフィギュレーションユーティリティ

このソフトは、本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなったり、本機のファームウェアのアップデートをおこなうことができます。



Frcfgldr.exe

⚠ 注意: 接続したSCSI機器が問題なく動作している場合、むやみにコンフィギュレーション(設定の変更)をおこなわないでください。

■フォーマットユーティリティ

このソフトは、本機(FireREX1)に接続したハードディスクのフォーマットをおこなうことができます。



RSFmt2XP.EXE

必要に応じてご使用ください。

7-1. Windows用ユーティリティソフトのインストール

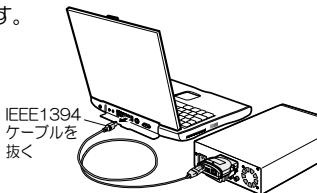
1. 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入してください。
2. 【マイコンピュータ】→【CDドライブ】を開き、【Setup.exe】をダブルクリックし画面の指示に従ってインストールを完了してください。
3. 【スタート】→【プログラム】→【RATOC FireWire Utility】に【FRコンフィギュレーション】と【FRフォーマットユーティリティ】が追加されています。

7-2. コンフィギュレーションユーティリティの起動手順

コンフィギュレーションユーティリティは、下記手順で起動してください。

1. 一旦、本機(FireREX1)をパソコンから外します。

接続されている本機を、36ページ**6**「本機(FireREX1)の取り外しについて」を参照し、パソコンから取り外してください。
この時、他のIEEE1394機器も取り外してください。



⚠注意: SCSI機器と本機(FireREX1)は接続したままにしてください。

2. 【スタート】→【プログラム】→【RATOC FireWire Utility】に【FRコンフィギュレーション】をクリックしてください。
3. 右図メッセージが表示されます。
本機をパソコンに接続してください。



初めてコンフィギュレーションユーティリティを起動する場合

Windows XP/2000で、初めてコンフィギュレーションユーティリティを起動する場合、しばらくすると本機(FireREX1)を再認識して“新しいハードウェアの検出”画面が表示されます。【次へ】を選択していき、最後に【完了】を選択します。

4. しばらくすると、右図のように「Setting was successful」のメッセージが表示され、2つの機能が選択可能になります。

◆ Config Utility

本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなう場合にクリックします。

使用方法は、40ページ **7**-2-1、「コンフィギュレーションについて」をお読みください。

◆ Firmware update Utility

本機(FireREX1)のファームウェアのアップデートをおこなう場合にクリックします。使用方法は、42ページ **7**-2-2、「ファームウェアアップデートについて」をお読みください。



コンフィギュレーションユーティリティの終了は【EXIT】ボタンをクリックします。

7-2-1. コンフィギュレーションについて

コンフィギュレーションユーティリティを使用すれば(起動方法は38ページ7-1、「コンフィギュレーションユーティリティの起動手順」参照)、本機(FireREX1)に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなうことができます。

コンフィギュレーションユーティリティのメニュー画面の【Config Utility】をクリックすると、右図の画面が表示されます。
【高度な設定】をクリックすると下図画面が表示されます。

各項目の説明

【FireREX1 SCSI ID】

本機(FireREX1)のSCSI IDを示し、7番固定です。

【転送速度】

初期値は【20MB/s】です。
転送速度は20MB/s、10MB/s、5MB/s、非同期の4種類で、各SCSI機器への転送速度を選択できます。

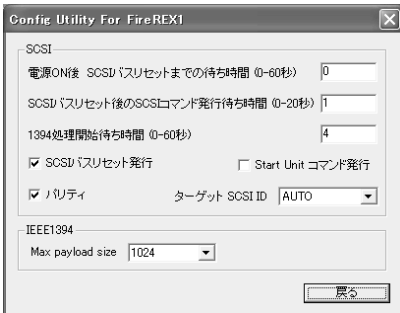
【電源ON後 SCSIバスリセットまでの待ち時間】

初期設定は【0秒】です。
本機(FireREX1)の電源ON直後にSCSIリセットを発行すると正しく動作しないSCSI機器用に、待ち時間を設定します。

Castle Wood ORBドライブ、CanonFB620S、Sharp JX-370を接続する場合は2秒に設定してください。

【SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間】

初期設定は【1秒】です。
SCSIバスリセットを発行後、すぐにSCSIコマンドを発行するとハングアップする機器に対して、待ち時間を設定します。



【1394処理開始待ち時間】

初期値は【4秒】です。

Start/Stop Unitコマンド発行後、すぐに他のコマンドを発行すると命令を受け付けられない機器に対して、待ち時間を設定します。

※Start Unitコマンドを発行しないように設定している場合は、1394処理を開始する直前の待ち時間を意味します。

【SCSI バスリセット発行】

初期設定は【有効】(チェックあり)です。

電源ON後、本機(FireREX1)がデバイスに対しSCSIバスリセットを発行するかどうかを設定します。

【Start Unit コマンド発行】

初期設定は【無効】(チェックなし)です。

電源ON時、Start/Stop Unitコマンドを発行しないとモータが回らないSCSI機器がある場合、ボックスにチェック(有効)を入れてください。

【パリティ】

初期設定は【有効】(チェックあり)です。

パリティチェック機能のないSCSI機器がある場合に限り、無効にしてください。

【ターゲット SCSI ID】

デフォルトは【Auto】です。(重要:本機を使用してSCSI機器のデジチェーン接続ができませんので、常に【Auto】に設定しておいてください。)

【Max payload size】

初期値は【1024】です。アドテックス製 1394 Hub ASB-H048を接続する場合は、1024または512に設定してください。2048に設定すると正常に動作しません。



設定の変更をおこなった場合、【書き込み】をクリックしてください。【書き込み完了】のメッセージが表示され【OK】をクリックすると、メニュー画面に戻ります。

設定の変更は、本機の再起動後(電源のOFF/ON後)に有効となります。36ページ **6**「本機(FireREX1)の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。次に、接続しているSCSI機器の電源OFFをおこない(本機のACアダプタも外す)タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。

再びSCSI機器の電源をON(ACアダプタの接続)すると変更内容は有効になります。

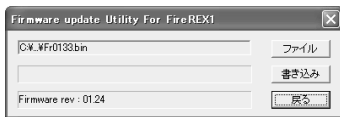
7-2-2. ファームウェアアップデートについて

コンフィギュレーションユーティリティを使用すれば、最新版のファームウェアを弊社ホームページから入手し、アップデートをおこなうことができます。

- 38ページ **7**-2「コンフィギュレーションユーティリティの起動手順」を参照して右図メニュー画面を表示し【Firmware update Utility】をクリックしてください。



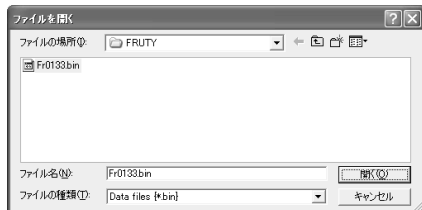
- 右図ダイアログボックスが表示されます。【ファイル】をクリックしてください。



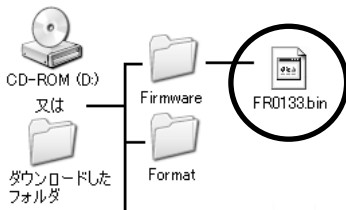
- 下図「ファイルの選択画面」が表示されます。添付CDの中、またはダウンロードしたデータファイルを検索し、ファイルを選択後【開く】をクリックしてください。

⚠ 警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.bin」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、アップデートの場合共に、下記図の場所の保存されています。



- 書き込むファイルが決まれば【書き込み】をクリックしてください。
- 書き込みが完了すると、右図メッセージが表示されますので、【OK】をクリックしてください。



ファームウェアのアップデートをおこなった場合、本機の再起動が必要です。
 36ページ**6**「本機(FireREX1)の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。
 次に、接続しているSCSI機器の電源OFFをおこない(本機のACアダプタも外す)、タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。
 再びSCSI機器の電源をON(ACアダプタの接続)すると、変更内容は有効になります。

7 -3. フォーマットユーティリティについて



RSFfmt2XP.EXE
E

このユーティリティは、本機(FireREX1)に接続したハードディスクやMOメディアのフォーマットをおこなうユーティリティです。(注:CD-R/RW、DVD-R/RW等は、フォーマットできません。)

Windows Me/98SE用とWindows XP/2000用があり、インストール時OSを自動的に識別してインストールされています。

また、Windows Me/98SE用とWindows XP/2000用には下記のような違いがあります。

■ Windows Me/98用の場合

Windows Me又は98SEのOS標準フォーマットプログラムでは、同一ディスク内で区画(パーティション)を分けることができませんが、このフォーマットを使用すると可能になります。

OSがWindows Me、又は98SEの場合、このユーティリティを使用して、ディスクのフォーマットをおこなうことをお勧めします。

■ Windows XP/2000用の場合

Windows XP/2000用は、OS標準のフォーマットプログラムとは異なり、下記障害が発生した場合に有効な、特殊なフォーマットプログラムです。また、このユーティリティでは、ファイルシステム「FAT32」によるフォーマットで、32GB以上のディスクにも対応しています。

新規ディスクをフォーマットする場合や、パーティションを変更する場合は、OS標準のフォーマットコマンドを実行してください。

- ディスクに対するアクセスができなくなった時。
- 論理フォーマットを実行してもディスクが認識しない時。
- 論理フォーマットを実行できなくなった時。

このユーティリティで上記障害を対策した後は、OSのディスクの管理でフォーマットをおこなう必要があります。

1. 【スタート】→【プログラム】→【RATOC FireWire Utility】→【FRフォーマットユーティリティ】をクリックしてください。

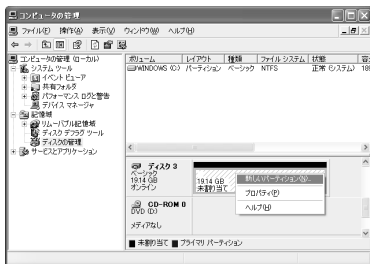
2. 右図画面が表示されますので、【初期化(フォーマット)するドライブ】のリストから、フォーマットをおこないたいドライブを選択後、【MBRの初期化】、或いは【物理フォーマット】をクリックしてください。

⚠ 警告

ドライブのリストには、本機に接続された以外のドライブ(USBポートや他のポートに接続されたドライブ)も表示されます。

選択したドライブがフォーマットをおこなうドライブであることを、必ず確認してください。

3. OSのディスクの管理でフォーマットをおこなってください。



フォーマットユーティリティの各項目の説明

【更新】

このボタンをクリックすると、パソコンに接続されているドライブリストを更新します。対象のドライブが表示されない場合、このボタンをクリックしてください。

【MBRの初期化】

MBR(マスターブートレコード)が失われた(または無い)ディスクを初期化する場合に使用します。

Windows 2000でMBRに障害が発生したディスクが接続された場合、OS標準のフォーマットでは初期化できません。(Mac OSで使用していたハードディスクをWindows 2000に接続すると、OSで認識せずハードディスクの初期化ができません。)このコマンドをご使用ください。

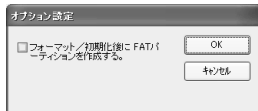
【物理フォーマット】

OS標準のフォーマットコマンドでは、SCSI接続のディスクは物理フォーマットを行うことができません。このコマンドをご使用ください。

【オプション】

このボタンをクリックすると右図画面が表示されます。この【フォーマット/初期化後にFATパーティションを作成する】を有効にする(チェックを入れる)と、MBRの初期化や物理フォーマットの実行後にFAT32形式の論理フォーマットも実行されます。

(注:NTFS形式の指定はできません。)



重要

フォーマット後、ディスク情報を更新するために、本機の再起動が必要です。36ページ **6**「本機(FireREX1)の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。

次に、接続しているSCSI機器の電源OFFを行ない(本機のACアダプタも外す)、タムパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。

再びSCSI機器の電源をON(ACアダプタの接続)すると、情報は変更されます。

1. 【スタート】→【プログラム】→【RATOC FireWire Utility】→【FRフォーマットユーティリティ】をクリックしてください。

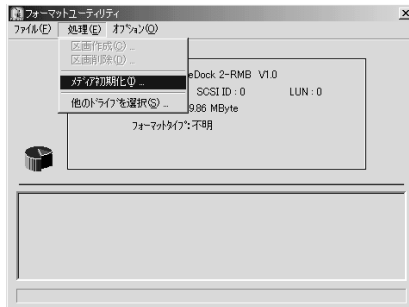
2. 右図画面が表示されますので、リストから、フォーマットをおこないたいドライブを選択し、【選択】をクリックしてください。

警告

ドライブのリストには、本機に接続された以外のドライブ(USBポートや他のポートに接続されたドライブ)も表示されます。

選択したドライブがフォーマットをおこなうドライブであることを、必ず確認してください。

3. 【処理】→【メディア初期化】を選択してください。



4. フォーマット形式を選択してください。

物意フォーマットも同時におこないたい場合は、“物理フォーマットも行う”にチェックを入れ、【OK】をクリックしてください。

- 「IBM PC/AT FDISK形式」
ハードディスクの通常フォーマット形式
- 「スーパーフロッピー(FD)形式」
SCSI MOなどのフォーマット形式



5. 確認画面が2度ほど表示されますので、確認し【OK】をクリックし処理を進めてください。

6. 「IBM-PC/AT FDISK形式」を選択した場合は、次の操作をおこないます。

- ① “区画を確保する必要があります。” ② 【処理】→【区画作成】を選択メッセージで【OK】をクリック



7. 区画作成(パーティション)を指定します。

- ① 区画サイズを指定
※「スーパーフロッピー(FD)形式」の場合、確保容量は入力できません。

- ② ボリュームラベル(ドライブ名)を入力

- ③ 【OK】をクリック



8. 確認画面が表示されますので、確認して【OK】をクリックし処理を進めてください。

9. フォーマット完了です。

フォーマット後の情報を有効にするために、次の手順をおこなってください。

- ① 【ファイル】-【終了】を選択
- ② “デバイスは更新されました。”メッセージを確認し【OK】をクリック
※SCSI MOなどのリムーバブルメディアの場合は“更新結果を反映させるために、メディアをイジェクトします。よろしいですか?”のメッセージを確認し【OK】をクリック。

10. 手順9.が終わった状態では、ドライブは認識していません。

ドライブの再認識には、次の方法などがあります。

方法1：Windows Me/98SEを再起動する。

方法2：本機の取り外しをおこない、接続ケーブルを一旦抜いてから挿し直す。
⇒36ページ **6**「本機(FireREX1)の取り外しについて」参照

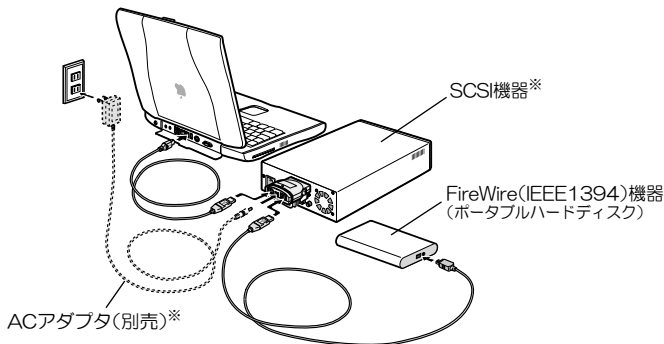
8

リピータとして使用する

本機(FireREX1)は、FireWire(IEEE1394)デジチェーンに便利なリピータ機能を搭載しています。

本機(FireREX1)は、ケーブル上を流れる電源をスルーするため、バスパワー対応のFireWire(IEEE1394)機器へ電源を供給することができます。

下記の例ではポータブルハードディスクを接続しています。



※ SCSI機器の電源がオフの場合、本機(FireREX1)に電源が供給されている必要があります。本機(FireREX1)のPowerLEDが点灯していない場合、ACアダプタ(別売)またはバスパワーケーブル(別売)を接続してください。



- SCSIのデジチェーンはサポートしていません。
- リピータとして使用した場合、本機(FireREX1)はWindowsのデバイスマネージャに「その他のデバイス」あるいはそれまでに接続していたデバイスに「！」マークが付きます。

Q1.FireREX1が認識されない(一般的なトラブルに対する確認事項)

確認1 FireREX1を正しく接続していますか？

以下①～⑥を確認し、認識されるか確認してください。

⇒11ページ**2**「Macでのセットアップ」参照、31ページ**6**「Windowsでのセットアップ」参照

- ①FireREX1がSCSI機器にしっかりと接続されていますか？
- ②FireWire(IEEE1394)ケーブルがFireREX1とパソコンのFireWire(IEEE1394)ポートにしっかりと接続されていますか？
- ③ご使用のFireWire(IEEE1394)ケーブルは添付のものを使用していますか？
- ④SCSI機器のSCSI IDは0～6になっていますか？
- ⑤SCSI機器の電源ケーブルが接続され、電源が供給されていますか？
- ⑥SCSI機器のターミネータをON、またはターミネータを装着していますか？

確認2 SCSI機器からFireREX1へタームパワーが供給されていますか？

FireREX1のPower LEDが点灯していない場合は、SCSI機器からタームパワーが供給されていない可能性があります。また、Power LEDが点灯しているも、SCSI機器の電源供給をACアダプタからおこなう環境では、SCSI機器から FireREX1へ供給されるタームパワーが不足して動作が不安定になる可能性があります。

別売のACアダプタまたはバスパワーケーブルを接続し、動作が安定するか確認してください。

⇒62ページ**10**「オプション品のご案内」参照

確認3 FireREX1のACアダプタ(別売)の電源投入は、SCSI機器の電源投入と同時にまたは後におこないましたか？

FireREX1のACアダプタ(別売)の電源投入を、SCSI機器の電源投入より後におこなうと、FireREX1が認識されない可能性があります。SCSI機器と同時にまたは後に電源を投入し、認識されるか確認してください。

Q1.コピーに失敗する場合や、FUJITSU MO(M2512A、M2513A)をご使用の場合

コピー途中でエラーメッセージが出たり、システムがフリーズする場合があります。コンフィギュレーションユーティリティを使用して、下記手順で転送速度を落としてみてください。

特に、FUJITSU MOを採用している比較的古い一部のMOドライブを接続するとハングアップする場合がありますので、この場合には、FUJITSU MO(M2512A、M2513A)をFireREX1から取り外し、別のSCSI機器を接続の上、このコンフィギュレーションユーティリティにて、転送速度を10MB/sに設定してください。FUJITSU MO(M2512A、M2513A)を接続したままこのコンフィギュレーションユーティリティを実行させることはできませんのでご注意ください。

⇒16ページ **3**「Mac OS X用ユーティリティソフト」参照

⇒22ページ **4**「Mac OS 9用ユーティリティソフト」参照

⇒37ページ **7**「Windows用ユーティリティソフト」参照

Q2.新しいドライブアイコンが追加されない(Windows)

フォーマット及び区画作成がされていないハードディスクを接続すると、[マイ コンピュータ]にドライブアイコンが追加されません。ハードディスクに対してフォーマットや区画作成をする必要があります。

- ①Windows Me、Windows 98SEをご使用の場合には、FRFMTW9X.EXEを用いてハードディスクをフォーマットと区画作成をすることができます。フォーマットのみで区画作成されていない場合は、必ず区画作成してください。⇒44ページ **7**-3、「フォーマットユーティリティについて」参照
- ②Windows XP、Windows 2000をご使用の場合には、Windows XP、Windows 2000のディスク管理を用いてハードディスクに対して区画作成や論理フォーマットをすることができます。詳細は、Windows XP、2000の書籍または、ヘルプファイル等をご確認ください。ディスク管理を終えても、ドライブアイコンが追加されない場合やフォーマットに失敗する場合に限り、FRFMTW2K.EXEを用いて、物理フォーマットを実行してください。その後、ディスク管理をおこなってください。
⇒44ページ **7**-3、「フォーマットユーティリティについて」参照

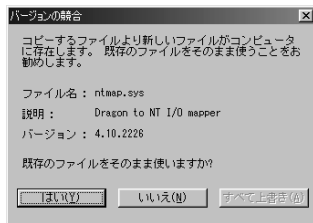
Q3.ひとつのライン上に2台以上のFireREX1を接続すると認識されない

パソコン本体のFireWire(IEEE1394)ポートからFireWire(IEEE1394)ケーブルを取り外した状態で、下記手順に従って2台以上のFireREX1を接続してください。

- ①各SCSI機器の電源がOFFになっていることを確認の上、それぞれのSCSI機器にFireREX1を接続します。
- ②SCSI機器に接続された各FireREX1同士をFireWire(IEEE1394)ケーブルで接続します。
- ③各SCSI機器の電源をONにします。
- ④最後に、パソコン本体のFireWire(IEEE1394)ポートとデジチェーンされたFireREX1のFireWire(IEEE1394)ポートをFireWire(IEEE1394)ケーブルで接続してください。

Q4.バージョンの競合メッセージが表示される場合(Windows 98SE)

Windows 98SE上で、下図のようなバージョンの競合メッセージが表示される場合があります。[既存のファイルをそのまま使いますか?]にすべて、[はい]をクリックしてください。



Q5.ハードウェアの取り外しアイコンに、接続したドライブ名が正しく表示されない (Windows Me/98SE)

タスクバー上のハードウェアの取り外しアイコンをクリックすると、接続していないドライブ名が表示される場合があります。この現象は、Windows Me、Windows 98SEで起ります。下図は、Windows 98SE上でハードディスクを接続している場合に、1394/USB光ディスクと表示された例です。

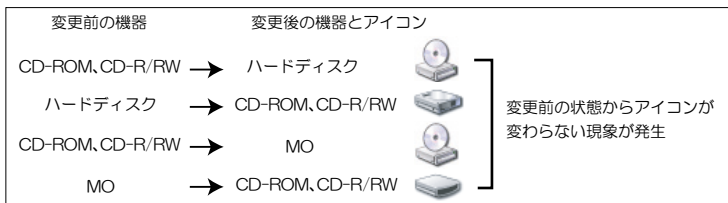


正しく表示させるために、下記手順に従ってください。

- ① [デバイスマネージャ]の画面を表示させてください。
- ② [記憶装置]の下にWindows 98SEの場合は、[1394/USB光ディスク]、[1394/ USBディスク]、[1394/USB CD-ROM]などの文字が、Windows Meの場合は、[IEEE1394光ディスク]、[IEEE1394ディスク]、[IEEE1394 CD-ROM]、[IEEE1394テープ]、[IEEE1394フロッピー]などの文字が表示されていますので、その文字列をダブルクリックしてください。
- ③ 表示されたプロパティ画面で[ドライバ]のタグをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックしてください。
- ④ [デバイスドライバの更新ウィザード]が起動しますので、Windows 98SEの場合は、そのまま[次へ]をクリックしてください。Windows Meの場合は、[ドライバの場所を指定する]にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。
- ⑤ 検索方法の指定画面で、[特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する]にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。
- ⑥ ハードウェアの製造元とモデルを選択してくださいの画面で、[すべてのハードウェアを表示]にチェックを入れてください。一覧から、ご使用のデバイスを選択し、[次へ]をクリックしてください。[ドライバ更新の警告]メッセージが出る場合がありますが、そのまま[はい]をクリックしてください。
- ⑦ ドライバファイルの検索画面で、[次へ]をクリックしてください。
- ⑧ ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされましたの画面で、[完了]をクリックしてください。

Q6. マイコンピュータに、接続したドライブのアイコンが正しく表示されない (Windows XP/2000)

下記のようにFireREX1に接続しているデバイスを変更すると[マイ コンピュータ]に現れるアイコンが変更されません。この現象はWindows XP,2000で起ります。



このままの状態で使用すると問題があるため、正しいアイコン表示になるように下記の手順でドライバを更新させてください。

- ①[デバイスマネージャ]の画面を表示させてください。
- ②CD-ROM, CD-R/RWドライブからリムーバブルディスクやハードディスクへ接続変更した場合には、[DVD/CD-ROMドライブ]の下に、又、リムーバブルディスクやハードディスクからCD-ROM, CD-R/RWドライブへ接続変更した場合には、[ディスクドライブ]の下に、[RATOC Systems_Inc.IEEE1394_SCSI_3 IEEE1394 SBP2 Device]という文字列が現れています。その文字列をダブルクリックし、プロパティを表示させてください。
- ③プロパティ画面が表示されますので、[ドライブ]のタグをクリックし、[ドライブの更新]ボタンをクリックしてください。
- ④デバイスドライバのアップグレードウィザードが起動しますので、[次へ]をクリックしてください。
- ⑤[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。
- ⑥ドライバファイルの特定画面で、検索場所のオプションにはどのチェックボックスにもチェックを入れず、[次へ]をクリックしてください。
- ⑦ドライバファイルの検索画面でも、[次へ]をクリックしてください。
- ⑧最後に[完了]をクリックしてください。

[マイ コンピュータ]をダブルクリックすると、正しいアイコン表示に変わっています。

Q7.ORBやMOで書き込みエラーが発生する

ORBやMOに接続されているACアダプタが、SCSI機器とFireREX1を動作させるのに十分な電力量を確保できていない可能性があります。別売のACアダプタまたはバスパワーケーブルを購入し、FireREX1に接続してください。

Q8.CD-R/RWを接続したところ、OS上からはCD-ROMとして認識されるが、CD-Rライティングソフトウェアから認識されません Mac OSで利用できるCD-R ソフトウェアは？(Mac OS)

お使いのCD-Rライティングソフトウェアが、FireWireインターフェースに対応していない可能性があります。FireWire対応のソフトウェアをお使いください。Toastが汎用的に使用できます。

Q9.「STFInitのシステム機能拡張で、ACD1.DRVr」ドライバファイルを読み込み中にエラーが発生しました。「STF」フォルダの「ドライバ」フォルダにドライバファイルがあることを確認してください」のエラーが発生します(Mac OS)

FAXStfを削除されるか FAXstf 6.1へアップグレードください。

Q10.デバイスマネージャにSCSI機器は認識されるが、ドライブレータが割り当てられない(Windows)

- ①[ディスクの管理]から、ドライブ文字を割り当ててください。
- ②FireREX1にSCSI機器を接続し、フォーマットしなおしてください。

Q11. PC-9821で使用していたハードディスクを再フォーマットせずにDOS/Vパソコンに接続してそのまま使用することは可能ですか？

そのまま使用することはできません。再フォーマットしてください。再フォーマットをする場合は、必ず以前接続していたパソコンでハードディスクの中身のバックアップを取っておいてください。

Q12. FireREX1に接続したDVD-RAMドライブがCD-ROMとしてしか使えません (Windows 2000)

Windows 2000でDVD-RAMをDVD-RAMとして使用する場合、下記の手順でDVDドライバをインストールしてください。

- ①DVD-RAMをFireREX1に接続し、パソコン本体のIEEE1394ポートに接続すると、CD-ROMとして認識されます。この時点でCD-ROMとして、正しくファイルの読み込みができるか確認します。また、UDFフォーマットのDVD-RAMの読み込みが可能です。
- ②DVD-RAMに添付しているCD-ROMから、ドライバソフトウェアをインストールします。
- ③再起動後も、この時点ではCD-ROMとして認識されるだけです。
- ④[デバイスマネージャ]の[DVD/CD-ROM]の[RATOC System Inc IEEE1394 SCSI 3 SBP2 Device]のプロパティを開き[ドライバ]-[ドライバの更新]を選択します。
- ⑤[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択して次へ進みます。
- ⑥[CDROM.INF]を見つけます。[もうひとつのドライバ]にチェックを入れます。
- ⑦[CD-ROM]と[DVD-RAM]を選択でき[DVD-RAM(Matsuhita)]に変更します。 仕組みとしては、[OEMx.INF]を指定します。
- ⑧再起動後、CD-ROMアイコンとリムーバブルアイコンが登場します。
- ⑨[デバイスマネージャ]の[DVD/CD-ROM]には[CD-ROMドライブ]、[ディスクドライブ]には[光ディスクドライブ]と登録されます。[RATOC System Inc IEEE1394 SCSI 3 SBP2 Device]は表示されなくなります。

Q13. FireREX1に接続したDVD-RAMドライブを使用できますか(Windows XP)

Windows XPでDVD-RAMをDVD-RAMとして使用する場合、下記の手順でインストールしてください。

- ①Windows XPでは、DVD-RAM DriveをXP標準でサポートしています。
- ②Panasonicからのダウンロードなしで、WindowsXPのPCIにFireREX1とLF-Dxxxを接続するだけで、DVD-RAMというアイコンが表示されます。
- ③アイコンは1つだけで操作します。CD-ROMを読むとCD-ROMとして、DVD-ROMを読むとMovie再生し、DVD-RAMを読むと読み書きできます。
- ④右クリックでフォーマットも出来ます。
- ⑤Panasonicからのダウンロードは、従来形式のフォーマットが利用できます。

[デバイスマネージャ]の[DVD/CD-ROM]の[RATOC System Inc IEEE 1394 SCSI 3 SBP2 Device]が表示されていれば、問題ありません。

Q14. CDメディア(CD-ROM、Audio-CD等)が挿入されている状態で、デバイスの停止を実行すると、“プログラムがアクセス中”とのエラーダイアログが表示され、FireREX1を取り外すことができません。 また、その後FireREX1を再度接続し直しても、！マークがつき(Code31 Error)正常に認識されません(Windows XP)

- ①[コントロールパネル]-[ハードウェアの追加と削除]で [デバイスの削除]を選択します。
- ②非表示のデバイスの削除で複数登録されているデバイスを削除します。
- ③続いて！が付いている[Ratoc system IEEE 1394 SCSI-3]を削除します。
- ④再度、FireREX1を接続し直し、[デバイスの追加ウィザード]で認識させていただきます。

Q15. FireREX1に接続したSCSI機器からMac OSを起動できますか？ (Mac OS 9)

FireREX1接続したSCSI機器からMac OSを起動するには、G4以降でMac本体のファームウェアがFireWireブートに対応している必要があります。OPTIONキーを押したままパソコンを起動し、起動ディスクを選択するためのブートメニューが表示されれば対応しています。

10-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェックなどをおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
フリーダイヤル: 0120-033-555

FAX: 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

10-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証を行う場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証をおこない、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くてもダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト(<http://p-key1.ratocsystems.com/>)をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。

10-3. Windows Vistaプロダクトキーについて

Windows Vistaで使用するには別途有償のドライバソフトウェアが必要です。弊社運営のSCSI Pro Shop(<http://www.scsiproshop.com/>)にて、Windows Vistaプロダクトキーを購入しダウンロードをお願いします。製品に添付のプロダクトキーではダウンロードできません。

10-4. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。

現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。また修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

- <製品送付先> ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:0120-033-555
- <送付頂くもの> ・本製品の保証書の原本
 ・製品
 ・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）
- <送付方法> 宅急便など、送付の控えが残る方法でお送りください。
 弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
 輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- <修理費用> 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

11

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番	品名
RSO-AC05	AC アダプタ
RCL-USBDC-07	バスパワーケーブル(USBコネクタ-DCジャック)
RCL-1394-44	IEEE1394ケーブル 4ピン-4ピン(2m)
RCL-1394-46S	IEEE1394ケーブル 4ピン-6ピン(2m)
RCL-1394-66	IEEE1394ケーブル 6ピン-6ピン(2m)
RCL-FW46-01	IEEE1394ケーブル 4ピン-6ピン(1m)
RCL-FW66-01	IEEE1394ケーブル 6ピン-6ピン(1m)

型番	FireREX1
名称	FireWire (IEEE1394) -UltraSCSI Converter
転送速度	SCSI側 同期転送 最大20MB/sec (Ultra対応のSCSI機器の場合) 同期転送 最大10MB/sec (SCSI-2対応のSCSI機器の場合) 非同期転送 最大6MB/sec (Async) FireWire側 データ転送レート 100/200/400Mbps (IEEE1394-1995準拠)
SCSIコネクタ	ハーフピッチピンタイプ50ピン (オス)
1394コネクタ	6ピン端子×2
サイズ	約58mm(W) ×66mm(D) × 22mm(H)(突起部を除く)
重量	約70g (本体のみ)
電源電圧	DC 4.25V-5.25V (SCSIタームパワーより供給が必要) タームパワーがない場合、別売のACアダプタが必要
消費電流	300mA(TYP)
別売ACアダプタ (型番:RS0-AC05)	入力 AC 100-240V、50/60Hz 出力 DC 5V、2A



ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-3553

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	FireREX1	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
使用SCSI 機器	メーカー名		型番	
質問内容				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

RS **RATOC**
Systems, Inc.
<http://www.ratocsystems.com/>



© RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan